

感染リスクが高まる「5つの場面」

場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事に比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。



場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることもある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。



高齢者施設等における面会・外出対応例(※1)

ステップ	判断基準(※2)			面会 対応例	外出 対応例
	県内 警戒レベル	地域の 感染状況	面会者の 状況		
3	感染 対策期	感染拡大	(本人) 2週間以内に感染拡大 地域へ訪問歴あり	原則、面会制限 ○看取り等を除く	原則、外出制限
2	感染 警戒期	感染者あり	(本人) 2週間以内に県外(感染 拡大地域以外)訪問歴あり	時間や人数を制限し、 厳重な感染予防策を 実施 ○2人以下、10分未満 利用者への接触禁止 差し入れ禁止 等	「三つの密」を避け、 感染対策を徹底 の上、外出可 ○時間や場所を 制限
1	感染 縮小期	2週間以上 感染者なし	(本人) 県外訪問歴なし (家族) 2週間以内に、 ・県外(感染拡大地域以外) 訪問歴あり ・感染拡大地域訪問歴ある が本人と濃厚接触なし	適切な感染予防のもと、 面会を実施 ○パーテーション設置 1.5m以上距離を取る 15分未満 飲食を控える 差し入れの消毒 等	「三つの密」を避け、 感染対策を徹底 の上、外出可
			(本人・家族) 2週間以内に県外への訪問 歴及び県外者との接触なし	通常の感染予防 ○マスク、手指消毒、 面会記録は必須 ○換気可能な別室を使用	

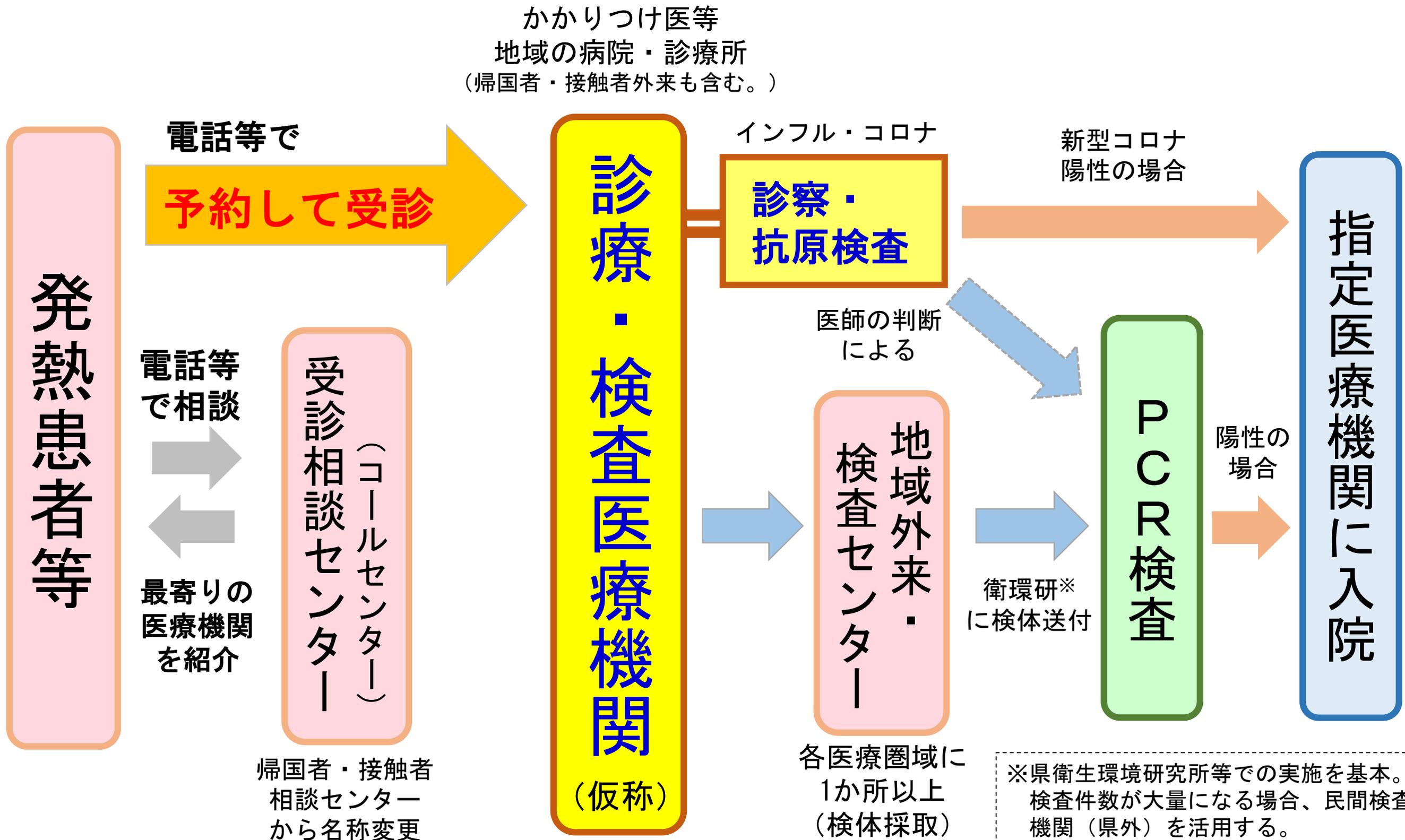
オンライン面会

※1 今回示した『対応例』を参考に、**各施設等の環境・状況・方針にあわせて、各段階の区分方法や対応を定めること。**

※2 『県内感染レベル』『地域の感染状況』『面会者の状況』のうち、いずれか高いレベルにあわせて対応すること。

インフルエンザ流行期に備えた外来診療・検査体制

新たな体制には 11月16日(月) から移行。



入所施設における新型コロナウイルス感染症対応フロー図

